

資料 1

日 時：平成20年7月16日（水）13:00～15:30

場 所：小石原川ダム建設所 大会議室

第 1 回小石原川ダム環境保全対策検討委員会 議事次第

1. 開 会
2. 委員紹介
3. 事業者挨拶
4. 議 事
 - 1) 設立の趣意、規約について
 - 2) 委員長の選出
 - 3) 委員会の公開方法、部会の設置について
 - 4) 事業の進捗状況及びH20年度の予定について
 - 5) 小石原川ダムの環境の現状
 - 6) 環境保全の基本方針について
5. 審議内容の確認
6. 閉会挨拶

(配付資料)

- ・資料－1 議事次第
- ・資料－2 小石原川ダム環境保全対策検討委員会出席者名簿
- ・資料－3 小石原川ダム環境保全対策検討委員会設立趣意
- ・資料－4 小石原川ダム環境保全対策検討委員会規約（案）
- ・資料－5 小石原川ダム環境保全対策検討委員会委員名簿
- ・資料－6 委員会の公開について
- ・資料－7 第1回小石原川ダム環境保全対策検討委員会説明資料

資料2

平成20年 7月16日

第1回小石原川ダム環境保全対策検討委員会出席者名簿

【委員】

荒井 秋晴	九州歯科大学総合教育学分野環境科学	講師
飯田 大和	甘木自然の会	会長
古賀 憲一	佐賀大学理工学部	教授
林 宏	元九州女子短期大学	教授
松井 誠一	元九州大学	教授
真鍋 徹	北九州市立自然史・歴史博物館	主査
森本 桂	九州大学	名誉教授
山根 明弘	北九州市立自然史・歴史博物館	学芸員

(敬称略。五十音順)

【独立行政法人水資源機構】

(本社)

赤尾 恒博 環境室審議役

(筑後川局)

恒吉 徹 次長
武田 浩一 企画調整課長

(小石原川ダム建設所)

薬師寺 公文 所長
福井 正泰 副所長
佐々原 秀史 調査設計課長
三好 久雄 工務課長
今井 敬三 環境課長

資料3

「小石原川ダム環境保全対策検討委員会」設立趣意

小石原川ダム建設事業は、筑後川総合開発の一環として、筑後川水系小石原川に多目的ダムを建設するとともに、筑後川水系佐田川から小石原川にある江川ダム貯水池までの導水施設を建設するものである。ダム建設にあたっては、環境影響評価法に基づく環境影響評価の手続きを平成16年3月に終え、事業の環境への影響を評価し、必要な環境保全措置を定めたところである。

平成20年3月23日に損失補償基準を調印し、今後、事業用地の取得、ダムの仮設備工事、付替道路工事に着手していくことから、次の段階として取り組むべき主要な課題は、環境保全措置の具体化、貯水池の出現に伴う周辺環境の変化の的確な把握及び対策を講じた保全対策の効果の検証にある。

このことから、小石原川ダム建設事業における環境保全対策やモニタリングの実施に関して、総合的な観点から指導・助言を得るために「小石原川ダム環境保全対策検討委員会」を設置する。

資料4

小石原川ダム環境保全対策検討委員会 規約

(名称)

第1条 本会は、「小石原川ダム環境保全対策検討委員会」（以下、「委員会」という。）と称する。

(目的)

第2条 委員会は、小石原川ダム建設事業における環境保全対策やモニタリングの実施に関して、総合的な観点から指導・助言を行うことを目的とする。

(設置)

第3条 委員会は、独立行政法人水資源機構小石原川ダム建設所長（以下、「所長」という。）が設置する。

(委員会)

第4条 委員会の委員は、所長が委嘱する。

- 2 委員会には会務を総括する委員長を置く。
- 3 委員会は、委員長が召集及び開催し、運営する。
- 4 委員会は、委員の2分の1以上が出席しなければ開催することができない。
- 5 委員会には、特定の課題を検討する専門部会を設置することが出来る。
- 6 委員長が必要と認めた場合は、委員以外の者の委員会への出席を求めることが出来る。

(委員長)

第5条 委員会には委員長を置き、委員の互選により定める。

- 2 委員長は会務を総括し、委員を代表する。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(専門部会)

第6条 専門部会（以下、「部会」という。）委員は、委員会委員のほか、委員会以外の専門家を部会委員とすることができる。

- 2 部会には部会長を置き、その部会長は、委員会委員が務めるものとする。
- 3 部会での審議内容は、委員会に報告する。

(委員会の公開)

第7条 委員会の審議内容は公開を原則とする。

(事務局)

第8条 委員会の事務局は、独立行政法人水資源機構小石原川ダム建設所内に置く。

2 事務局は、委員会もしくは部会の指示により事務を行う。

(雑 則)

第9条 この規約に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会で定める。

(附 則)

この規約は、平成20年7月16日から施行する。

資料5

小石原川ダム環境保全対策検討委員会 委員名簿

氏名	所属	専門分野
荒井 秋晴 ^{あらい しゅうせい}	九州歯科大学総合教育学分野環境科学 講師	哺乳類
飯田 大和 ^{いいた やまと}	甘木自然の会 会長	環境一般
古賀 憲一 ^{こが けんいち}	佐賀大学理工学部 教授	水質
林 宏 ^{はやし ひろし}	元九州女子短期大学 教授	鳥類
松井 誠一 ^{まつい せいいち}	元九州大学 教授	魚類
真鍋 徹 ^{まなべ とおる}	北九州市立自然史・歴史博物館 主査	植物
森本 桂 ^{もりもと かつら}	九州大学 名誉教授	昆虫類
山根 明弘 ^{やまね あきひろ}	北九州市立自然史・歴史博物館 学芸員	両生・爬虫類

(敬称略。五十音順)

資料 6

小石原川ダム環境保全対策検討委員会の公開方法について

- 委員会は、原則マスコミ公開とする。なお、委員会が必要と認めた場合、野生動植物保護の観点から、これに関わる事項について、非公開とすることができる。
- ビデオ収録、録音及び写真撮影は、冒頭の委員長の挨拶までとする。
- 委員会終了後に記者会見を行う。審議内容に関する質問は、記者会見の際に回答する。委員会場内での質問は受け付けない。
- 委員会での審議内容（議事要旨）及び配付資料については、ホームページ上に公表する。